

2022年度

学校関係者評価報告書

評価対象期間 自：2022年4月1日

至：2023年3月31日

学校法人 東京メディアアカデミー
専門学校 東京声優・国際アカデミー

目的

学校教育法・学校教育法施行規則に則り、自己評価及び学校関係者評価を実施し、学生が質の高い教育を享受できるよう、また、学校運営の改善を図る。

【評価のポイント】

- ・自己評価の結果の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の実践が取組みが適切かどうか

<学校評価委員>

木和田 光美 (企業関係者) 杉山 恵 (企業関係者)
小林 一之 (学識経験者) (敬称略・順不同)

<学校教職員>

市原 光敏 (理事長) 稲葉 峰弘 (統括部長) 奥村 拓真 (教務課長)
伊藤紀子 (総務課長) 林 ひとみ (総務事務)

(2022年4月1日現在)

【評価実施要項】

学校関係者評価委員会を開催、市原理事長より学校評価について当校の取組みや自己評価結果について説明。目的・現状・改善策など説明し自己評価書に基づき、学校関係者委員による評価が行われた。

【自己評価項目】

文部科学省による「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠し、下記自己評価項目の通り、評価を行った。

(1) 教育理念・目標 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評 価 項 目	自己 評価	関係者評価	
			評価	意見
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4	目標に沿った教育理念が円滑に実施されている。
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4		
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4		
1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3		
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4		

① 課題

- ・教育理念・目的等、HPや募集要項等に記載、また、説明会等で説明も行っているが、学生、保護者への周知に一層努める。

② 今後の改善方策

- ・情報公開、アンケートの実施、「学校生活の規則」等を通じて保護者へ周知・理解を求める。
- ・企業や教育機関との連携を構築し、現場経験の機会を増やし、社会のニーズに対応した人材の育成に努める。

③ 特記事項

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症対策として換気や消毒等を徹底して実施。学生及び講師等、教育現場の整備をし、衛生面など、職場環境も改善。また、対応策については保護者へも周知している。

(2) 学校運営 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評価項目	自己評価	関係者評価	
			評価	意見
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4	コロナ禍教育環境悪化のもとで運営に腐心されている様子が感じられる。 学力を高める教育環境が整備され、向学心の強化に貢献している。
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4		
2-3	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4		
2-4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4		
2-5	教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4		
2-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4		
2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4		
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4		

① 課題

- ・自己点検・自己評価を行い、情報公開を継続する。
- ・中長期計画については、より具体的にきめ細かく作成、進めていく必要がある。

② 今後の改善方策

- ・引き続き、自己点検・自己評価を行い、情報公開を実施していく。
- ・学科ごとの段階的な事業計画を強化する。
- ・内部向けの計画書（方向性）を細密化、次年度には月1回程度経営者会議を実施し、課題等を共有していく。

③ 特記事項

- ・学校に関する情報は当校オフィシャルサイトに掲載して広く公表している。
- ・学校経営や運営に関する会議や委員会は、理事会・評議委員会があり、意思決定の機能は効率的なものとなっている。
また、年に2回前期・後期の始まりに講師会を通じて、今期の方針を確認している。
- ・就業規則や組織図によって各メンバーの職務分掌・責任は明確化され、運営組織がそれぞれの目標達成に向け、定例会議が行われている。各部署の役割と権限は、各部署の目

標達成に適合するよう定められ、効率的な運営や意志決定がなされている。
 また、情報システム化等による業務の効率化も、教務、広報、経理、事務などデータを共有化し作業効率化を図っている。個人情報の管理も徹底している。情報共有システム、インフォクリッパーの導入により作業の効率化を進めている。

(3) 教育活動 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評価項目	自己評価	関係者評価	
			評価	意見
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3.3	初期の目標が十分達成されている。
3-2	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4		コロナ禍か業界のニーズ等にマッチしていない事が就職率の悪化につながっているのではないかと。ご苦労されているのは理解できる。
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4		国際コミュニケーション学科は卒業生の殆どが進学。本来の学校の機能は、学校理念にあった人材を直接社会へ送り出す事ではないか。
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4		日本で留学生のためにITの勉強ができたり、母国語を教える教員資格やその他いろいろな技術を学べると良いと思う。
3-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3		留学生の住まいに関してもホーム
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	3		
3-7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4		
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4		
3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3		
3-10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件をそなえた教員を確保しているか	4		
3-11	関連分野における業界との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4		

3-12	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修参加や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	テイをするところがあると N2 も取りやすくなると思う。 ある学校では生徒の中からホームステイ先を募集していた。
3-13	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	

① 課題

- ・コロナ禍、外部への研修に参加できなかった状況もあり、今後は最新情報の収集に努め、教員の質や、指導力向上に努める。
- ・時代のニーズに合わせて、必要な資格取得に関する体制の強化。
- ・学科ごとに、全般的な課題の見直し。

② 今後の改善方策

- ・専門性の高い講師陣と連携し、教育体制を強化していく。
- ・新しい業界のニーズに対応するために今後もカリキュラムを見直す。

③ 特記事項

- ・専門業界の講師等により、内容の深い授業であり、各事務所の評価は高い。卒業生も業界で活躍している。
- ・業界のニーズに沿った講師、人材を採用しているので努力する学生は満足できるレベルに達している。
- ・当校にオーディションの参加企業が、毎年多数来校する。
- ・日本声優事業者協議会に定期的に参加し、教育研修、業界における最新情報の取得や業界団体、関係者との交流を定期的に行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は外部イベント等が中止となり、今後の再開に期待する。

(4) 学修成果 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評価項目	自己評価	関係者評価	
			評価	意見
4-1	就職率の向上が図られているか	3	3	就職率、進学率の低迷がみられる。 まだ未知数の新企画等、更なる努力が期待される。
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4		
4-3	退学率の低減が図られているか	3		
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4		
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4		

① 課題

- ・留学生を含め、就職率の向上に努める。
- ・退学者数が増えてしまったので、退学者数減少に努める。

② 今後の改善方策

- ・退学者の低減に向け引き続き生徒への対応を強化する。新型コロナウイルス感染症の影響で経済的、精神的に不安な学生に一人一人親身に対応、指導に努める。
- ・就職指導の強化により、更に進路の幅を広げていきたい。

③ 特記事項

- ・2年次に20社以上の声優業界を中心とする芸能関連企業の説明会があり、進路選択の参考にしている。
- ・今年度は、退学減少に向けて努力したが、退学率は増加。次年度も退学率を低減させられるよう努めていく。

(5) 学生支援 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評価項目	自己評価	関係者評価	
			評価	意見
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	3.7	学生アンケートはおおむね好評価。 保護者との連携がポイント。
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4		
5-3	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4		
5-4	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3		
5-5	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	4		
5-6	保護者と適切に連携しているか	4		
5-7	卒業生への支援体制はあるか	4		
5-8	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4		
5-9	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3		

① 課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で昨年は放課後を学生に開放していなかったが、今年度は開放し、面談の時間に充てた。引続き、面談等の取組み体制を整備する。
- ・今年度の課外活動に関しては活動できておらず、支援体制を見直していく。
- ・今後も高校訪問を増やし、進学等の体制を強化する。
- ・就職・進学等の体制の強化に努める。

② 今後の改善方策

- ・留学生を含めた就職率向上を今後の課題として支援体制を見直す。

③ 特記事項

- ・一人一人の学生の相談を聞くことにより、進路の選択や方針を確認している。
- ・インターンシップとして、ボイスドラマには在校中から参加している。企業のプロモーションビデオを当校スタジオ内で製作し、ナレーションや台詞を学生が担当している。インターンシップにより学生の意識が向上している。今後、卒業生も含めフォローアップしていく。また、高校の進路指導の先生との更なる連携を図りたい。

(6) 教育環境 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評価項目	自己評価	関係者評価	
			評価	意見
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	3.7	校内も他校に類を見ないセンスが感じられる。
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4		
6-3	防災に対する体制は整備されているか	4		

① 課題

- ・スタジオ施設などの教育環境の改善を実施できるように努める。
- ・インターンシップを含む企業や海外研修など受け入れ先の強化を図る。
- ・学生アンケートより、トイレの便座、ウォシュレットの希望がある。

② 今後の改善方策

- ・学生が快適に学習できるように教育設備を整える。
- ・学科ごとの教育体制の充実に向け体制を強化させる。

③ 特記事項

- ・今年度の大規模な外壁工事を実施。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今年度は卒業公演や、イベントを縮小、中止。2020年度の卒業式は感染症対策を徹底し、無事に終了。謝恩会は中止となった。2021年度の卒業式も同様に催行することとなった。
- ・防災対策としても、年2回、避難誘導についての指導及び訓練を実施している。

(7) 学生の受入れ募集 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評価項目	自己評価	関係者評価	
			評価	意見
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	3	2.7	募集定員未達。 You Tube 等、若者に直結するツールの活用が期待される。一方使い方を間違えると炎上してしまうので注意が必要。
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3		学校の宣伝として、高校生、中学生等を対象としたプレスクールなどがあると良いと思う。(学校に興味を持つ学生を増加するため)
7-3	学納金は妥当なものとなっているか	3		講師を高校に派遣して興味ある授業の開催も。 また、提携している高校などに学校監修の「声優クラブ」をつくってみるという案も。 この学校で学びたいという環境造りを。

① 課題

- ・募集定員には達していないため、募集活動を見直し改善していく必要がある。

② 今後の改善策

- ・インターネット、学校訪問等により合理的、効果的な告知媒体を活用し、幅広く募集活動を展開していく。
- ・募集活動において、魅力的なイベント等、活動内容をさらに研究する。
- ・昨年度よりもオンラインの説明会や面談、入試を増やした。今後も更に強化していく。

③ 特記事項

- ・全国各地の学校訪問や学校説明会、ガイダンスなどを積極的に行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響で十分に行うことができなかった。また、体験入学や学校説明会では毎回アンケート調査をし、さらなる改善に努めている。当校のオープンキャンパス等は評判がよくリピーターが多い。入学者の九割以上がオープンキャンパス参加者である。
- また、当校の取組みに理解を持つ進路指導担当者、講師、法人との関係ができています。
- ・国の高等教育の修学支援制度の実施に伴い、当校も申請を行い、認定校となった。
- ・学納金は、毎年妥当であるか検討し決定している。

(8) 財務 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評価項目	自己評価	関係者評価	
			評価	意見
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3	3.3	募集定員の確保が財務基盤の安定につながると思われる。 財務状況の開示とあるが、HP上で見つけにくい。 自社ビルというアドバンテージは大きい。優位性があり、信頼される。
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3		
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4		
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4		

① 課題

- ・中長期的に学校の財務基盤を安定させていく。
- ・財務情報公開を整え、今後も継続させる。

② 今後の改善方策

- ・広告等の効率化により予算を進める。
- ・学科全体で生徒数の改善を図る。
- ・財務情報の公開に今後も努める。

③ 特記事項

- ・当校は学校所有の建物であり、借入はない。
- ・広告による周知・学校訪問の強化・インターンシップの実施により、2021年度の入学者は増加した。

(9) 法令等の遵守 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評価項目	自己評価	関係者評価	
			評価	意見
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4	特に問題ないと思われる。
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4		
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4		
9-4	自己評価結果を公開しているか	4		

① 課題

- ・自己評価等の公開実施を継続する。

② 今後の改善方策

- ・自己評価等の公開に向けて定期的に学校関係者委員会を開催し問題点を改善する。

③ 特記事項

- ・専門学校として法令を遵守し、又個人情報の保護対策も徹底して行われている。

(10) 社会貢献・地域貢献 (適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

	評価項目	自己評価	関係者評価	
			評価	意見
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	SNS等による地域社会との交流を強化する。
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3		ホームステイ先を地域下で募集するとか。
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3		コロナが落ち着いてきたら地域イベント等、参加していきたい。

① 課題

- ・ボランティア活動に関する事が、あまり生徒に周知されていない。

② 今後の改善方策

- ・ボランティア活動を積極的に奨励する。
- ・公開講座等は、更に強化、実施していく。

③ 特記事項

- ・地域との連携を強化するために、地域の団体に所属をしている。
- ・当校設備をTV番組やドラマの撮影など、無償で貸し出している。
- ・当校学生による卒業公演はHP上での案内及び渋谷区文化総合センター大和田 さくらホールにチラシを配置し、毎年多くの方々に広く告知しているが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により感染症対策を強化し無観客で実施、無事終了した。保護者の方へは後日DVDを送付。

(11) 国際交流 (必要に応じて)

(適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1)

	評価項目	自己評価	関係者評価	
			評価	意見
11-1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	4	SNSやYou Tube等の活用で広く社会貢献につながるチャンスを活かす。 2022年度の留学生は国籍もバラエティ。色々な面でプラスに働くのではないか。
11-2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4		
11-3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4		
11-4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3		

① 課題

- ・留学生の受入れ体制を強化し、派遣についても今後取り組む必要がある。

② 今後の改善方策

- ・留学生の生活指導等、管理体制は整えているが、更に強化していく。
- ・今後国際交流を考えていく。

③ 特記事項

- ・特になし